

OIL FREE SCROLL COMPRESSOR

オイルフリースクロールコンプレッサカタログ

**ANEST
IWATA**



GLOBAL ONE

The Air of Trust



デジタルカタログ

進化しつづける オイルフリースクロールコンプレッサ

オイルフリースクロールコンプレッサは、1991年にアネスト岩田が
世界で初めて世に送り出してから、数々の進化を遂げてきました。
そして、これからも最先端な技術で世界の工場に高品質な空気を
送り続けます。



進化を遂げてきたオイルフリースクロールコンプレッサ



2014



2020



2020



1991



2000



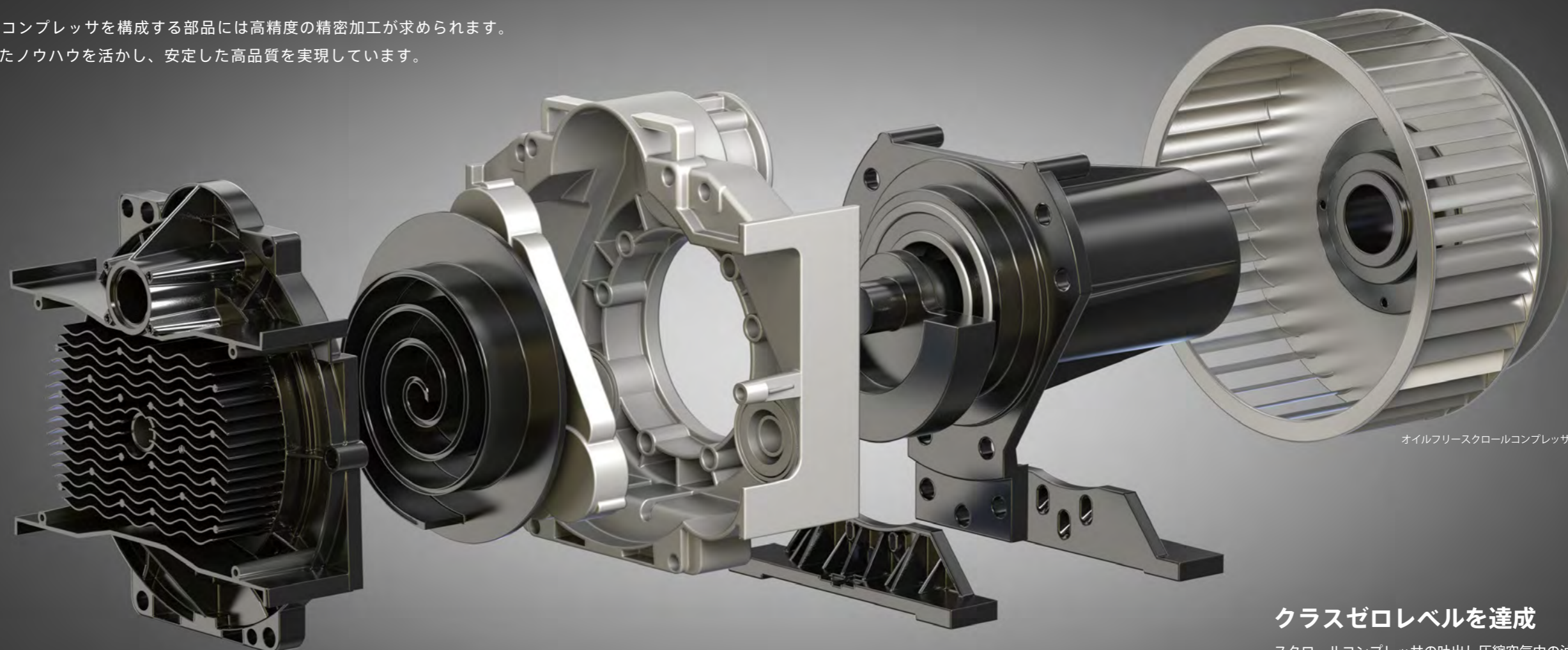
2004



2006

高品質なクリーンエアを実現する技術力

オイルフリースクロールコンプレッサを構成する部品には高精度の精密加工が求められます。当社は20年以上蓄積したノウハウを活かし、安定した高品質を実現しています。



オイルフリースクロールコンプレッサ本体 SL-210 (7.5kW用)

オイルフリースクロール圧縮原理

旋回スクロールが、図 1→2→3→4 と回転するにしたがって、固定スクロールと旋回スクロールの間に空気が吸い込まれ、点対称の位置にある三日月状の圧縮室の容積が徐々に小さくなり、空気が圧縮されて、中心部の吐き出しポートから押し出されます。



■ 旋回スクロール ■ 固定スクロール ■ 圧縮室

オイルフリードレン

給油式コンプレッサから排出されるドレンには油分が含まれるため、適切な廃水処理が必要です。油分を含んだドレンの処理には年間 28 万円※2 程度の費用がかかるケースもあります。オイルフリーコンプレッサから排出されるドレンは特別な廃水処理が不要※3 で環境にやさしく、コストも削減します。

※2：試算条件
空気温度 30℃、相対湿度 70%、吐き出し空気量 1600L/min、吐き出し圧力 0.78MPa、ドライヤ加圧露点 12℃、負荷率 80%
稼働時間 15 時間 / 日、300 日 / 年、ドレン処理費用 40 円 / L

※3：ドレンを工業廃水として廃棄するためには、ドレンに含まれる油分が法律・条令で制定された値以下である必要があります。

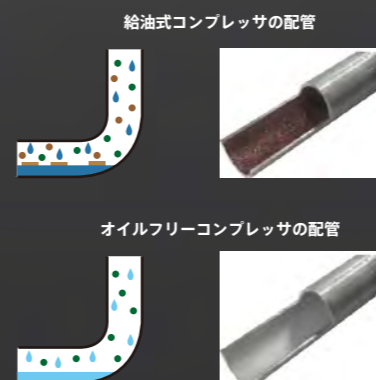


オイルフリーコンプレッサからのドレン 給油式コンプレッサからのドレン

クリーン

給油式コンプレッサが作り出す圧縮空気には油分が含まれています。この油分は配管の内面に付着して、配管を汚します。オイルフリーコンプレッサが作り出すクリーンエアは配管の内面を汚すことなく、工場に高品質な空気を供給致します。※1

※1：空気の品質はコンプレッサが吸込む空気に影響されます。



給油式コンプレッサの配管

オイルフリーコンプレッサの配管

クラスゼロレベルを達成

スクロールコンプレッサの吐出し圧縮空気中の油分濃度を測定をしました。圧縮空気の品質等級が最高品質等級の「クラスゼロ※」レベルを達成しています。(※ISO8573-1:2010[-:-:0])



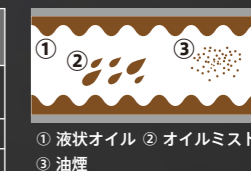
クラスゼロとは

圧縮空気の清浄度を示す圧縮空気品質等級は、ISO8573-1(JIS B8392-1) で制定されています。

Class 0 の認証を受けるためには、圧縮空気に含まれる“液状オイル”“オイルミスト”“油煙”の3つの要素が限りなく少なくなければなりません。

特に油煙はエアフィルタで取ることができないため、コンプレッサがクラスゼロである事はクリーンエアを必要とする工場にとって、非常に重要な要素となります。

CLASS	オイル総濃度 mg/m ³
0	Class1 より厳しい条件で使用者とメーカーによって決定する。
1	≦0.01
2	≦0.1
3	≦1
4	≦5



SLP-EG Series (5.5~15kW機)

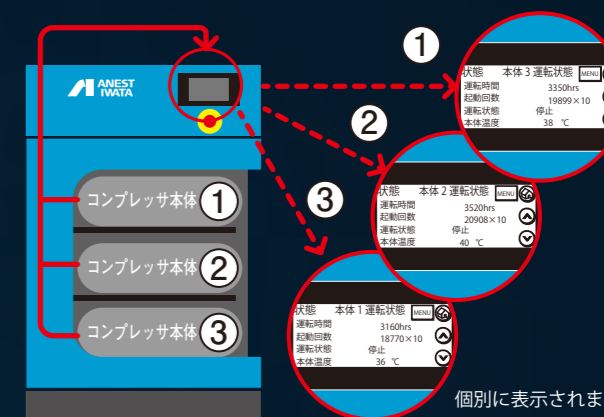
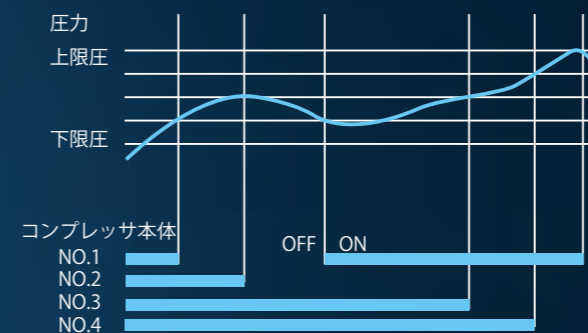
使う人への優しさをさらに進化させた新モデル



■ 新型基板 & 液晶タッチパネルを採用

新型基板と液晶タッチパネルを採用することで、コンプレッサをより詳しく最適に管理できるようになりました。

- ・複数搭載されたコンプレッサ本体を、使用状況に応じて発停コントロール。
- ・必要最低限の圧力を維持する制御で電力の無駄を省き、省エネに貢献します。



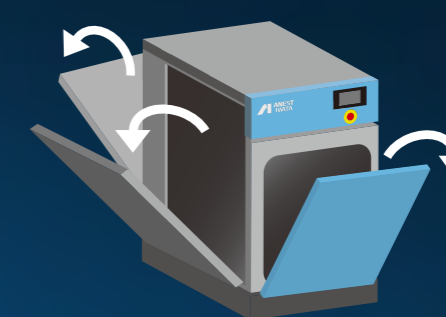
- ・コンプレッサ本体の状態を個別にチェック可能。計画的なメンテナンスによるコンプレッサの安定稼働をサポートします。
- ・運転応答出力、異常出力、警報出力、遠隔操作入力に標準対応し、接続端子台も標準装備。工場全体の監視システムに組み込んで運用することが可能です。

■ 非常停止スイッチを標準装備

非常停止スイッチを標準装備することで、お客様の安全をより重視した設計になりました。



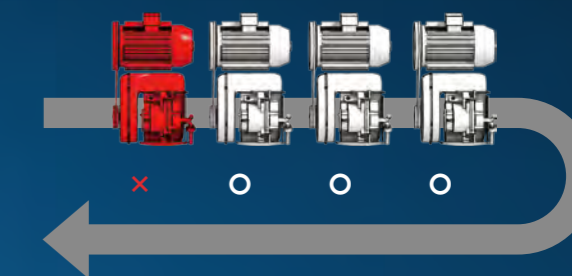
■ ワンタッチで開放できるパネル構造を採用



工具を使わずに3側面を開放できるパネル構造を採用することで、お客様がメンテナンスしやすい設計になりました。

■ リスク回避機能

万が一の故障時にも搭載されている複数のコンプレッサ本体が自動でバックアップ運転を開始。圧縮空気供給がゼロになるリスクを回避します。



■ 停電自動復帰機能を標準搭載

悪天候などによる停電で予期せぬ停止トラブルが発生することを想定し、停電自動復帰機能を標準搭載しました。瞬停にも対応し、工場の安定稼働に貢献します。タッチパネルの操作だけで有効化可能。

※安全面に配慮し工場出荷時は無効としています。

■ 優れた静音性

52 ~ 58dB 騒音値 52 ~ 58dB と一般的な事務所並の静かさを実現。



一般的な事務所

SLP-Prime (1.5kW機/2.2kW機)

圧倒的な静けさ、圧倒的な使いやすさ

世界一の^{※1}
静音実現

オイルも
ストレスも
フリー

従来比
-20%の
低振動

※1. オイルフリーの同出力帯として。2020年8月現在 自社調べ。



圧倒的な低騒音

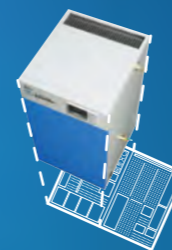
従来比 -4dB(1.5kW機)、-5dB(2.2kW機)の圧倒的な低騒音。



従来モデルとの静音性比較動画はこちら
https://www.anest-iwata.co.jp/compressor/scroll/slp_prime.html

コンパクト設計

スマートさを追求したパッケージにより、様々な場所への設置が可能。オプションでキャスターの取付も可能。



設置面積は新聞の1ページ程度。



OCX-813(キャスターセット)取付時。

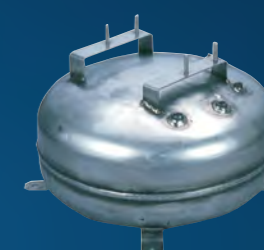
圧倒的な低振動

従来比 -20%の圧倒的な低振動。



クリーン

防錆タンク（ステンレス製）を標準搭載したことで、ドレンもクリーンに。



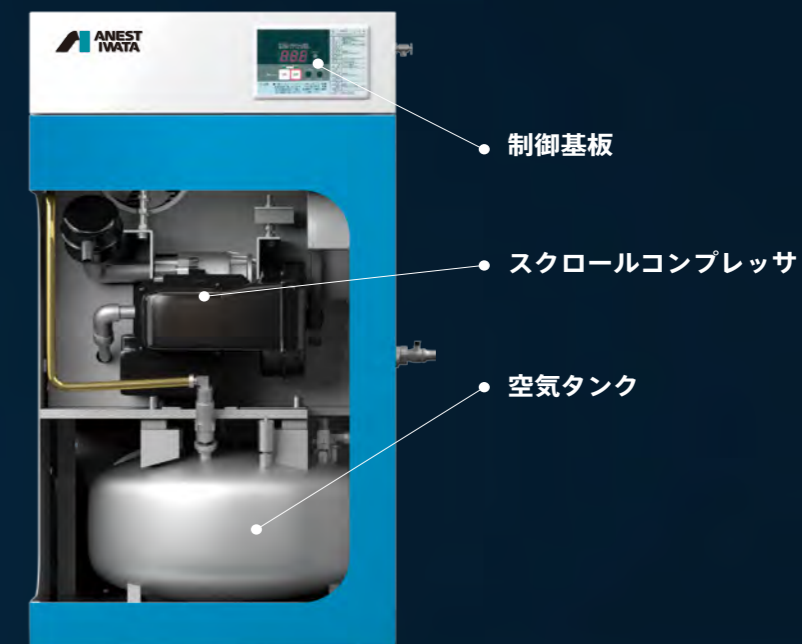
SmartAir (0.75~3.7kW機)

静かでコンパクト。シンプルな空気です。



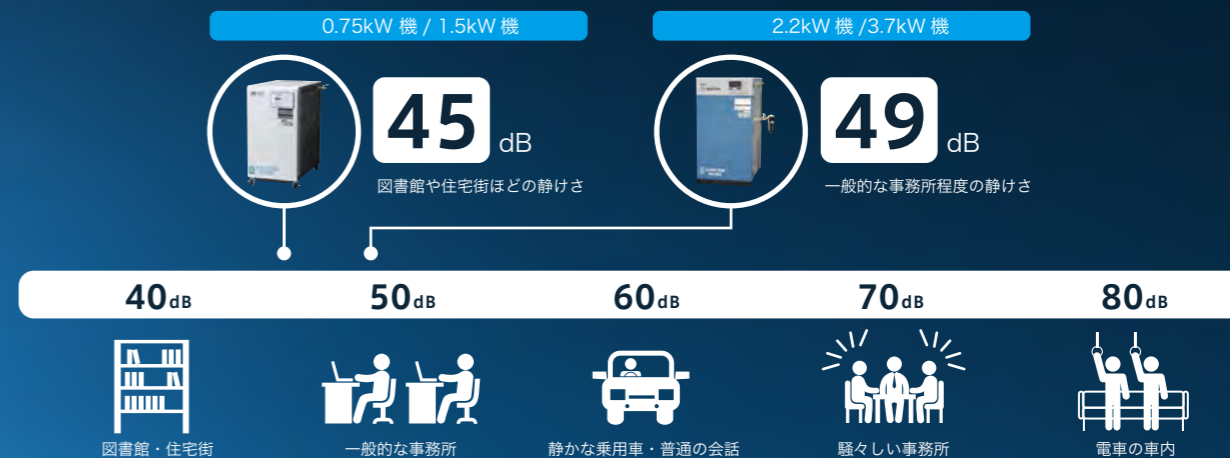
■ SLP-37EF 機 内部構造

コンパクトなパッケージの中に必要な機能を収めたシンプルデザイン。空気タンクも内蔵しており、手軽にご使用いただけます。



■ 優れた静音性

騒音値 45 ~ 50dB と一般的な図書館~事務所並みの静かさを実現

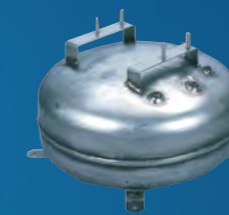


■ クリーン

防錆タンク（アルミ・ステンレス製）を標準搭載したことで、ドレンもクリーンに。



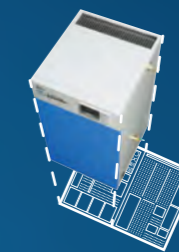
0.75kW 機



1.5kW ~ 3.7kW 機

■ コンパクト設計

スマートさを追求したパッケージにより、様々な場所への設置が可能。オプションでキャスターの取付も可能。



設置面積は新聞の1ページ程度。



OCX-813(キャスターセット)取付時。

ThinkAir (22kW機/30kW機)

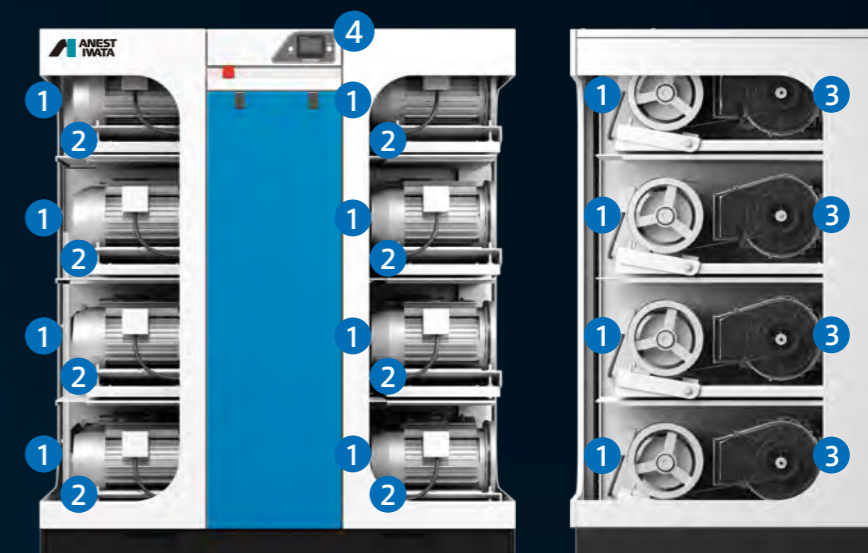
省エネ & 省コスト。フレキシブルな空気。



SLP-300EF 機 内部構造

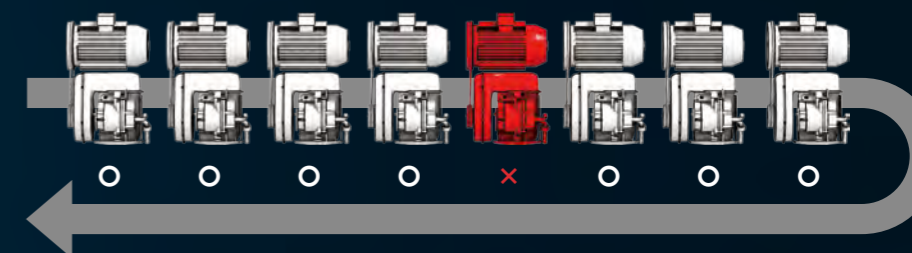
1つのパッケージの中には8台のスクロールコンプレッサを搭載。省エネ運転はもちろん運転時間をそれぞれのユニット負荷率で換算。メンテナンスコストを削減します。

- ① モーター
- ② ベルトテンションスイングスペース
- ③ スクロールコンプレッサ
- ④ タッチパネル



リスク回避機能

万が一の故障時にも搭載されている複数のスクロールコンプレッサが自動でバックアップ運転を開始。圧縮空気供給がゼロになるリスクを回避します。



優れた静音性

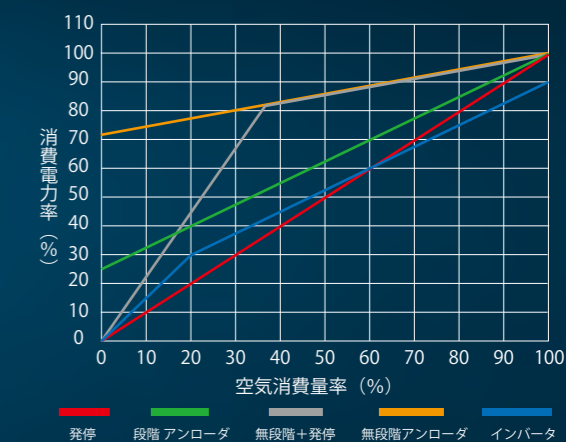
60dBをきる低騒音、静かな乗用車並の静けさを実現

60dB



優れた省エネ制御

ThinkAir に搭載されたマルチステージ制御は内蔵された複数のスクロールコンプレッサを空気の使用状況に合わせて発停させる事で、電力の無駄を省きます。





SLP - EG Series (5.5 ~ 15kW 機)

< 運転制御方式 : マルチステージ制御 (圧力センサ発停式) >

形式	電動機 定格出力 kW[PS]	制御圧力 MPa	吐き出し 空気量 L/min	推奨空気 タンク形式	ドライヤ(加圧下露点12℃以下)		空気取出口	外形寸法 (W×D×H) mm	質量 kg	騒音値 (正面1.5m) dB(A)				
					冷媒充填量 g	消費電力 (50/60Hz) kW								
ドライヤ無	SLP-55EG M5/M6	5.9{7.5} (3.7+2.2)	675	SAT-120C-140 (120L)	—	—	Rc 3/4 ボールバルブ めねじ	680×985×1195	273	52				
	SLP-75EG M5/M6	7.4{10} (3.7×2台)									291	53		
	SLP-110EG M5/M6	11.1{15} (3.7×3台)											375	56
	SLP-150EG M5/M6	14.8{20} (3.7×4台)												
ドライヤ付	SLP-55EGD M5/M6	5.9{7.5} (3.7+2.2)	675	SAT-120C-140 (120L)	R-134a 340	0.41/0.43	Rc 3/4 ボールバルブ めねじ	680×985×1195	310	52				
	SLP-75EGD M5/M6	7.4{10} (3.7×2台)									328	53		
	SLP-110EGD M5/M6	11.1 {15} (3.7×3台)											442	56
	SLP-150EGD M5/M6	14.8{20} (3.7×4台)												

■1MPa仕様

形式	電動機 定格出力 kW[PS]	制御圧力 MPa	吐き出し 空気量 L/min	推奨空気 タンク形式	ドライヤ(加圧下露点12℃以下)		空気取出口	外形寸法 (W×D×H) mm	質量 kg	騒音値 (正面1.5m) dB(A)				
					冷媒充填量 g	消費電力 (50/60Hz) kW								
ドライヤ無	SLP-551EG M5/M6	5.9{7.5} (3.7+2.2)	560	SAT-120C-140 (120L)	—	—	Rc 3/4 ボールバルブ めねじ	680×985×1195	273	52				
	SLP-751EG M5/M6	7.4 {10} (3.7×2台)									291	53		
	SLP-1101EG M5/M6	11.1 {15} (3.7×3台)											375	56
	SLP-1501EG M5/M6	14.8{20} (3.7×4台)												
ドライヤ付	SLP-551EGD M5/M6	5.9{7.5} (3.7+2.2)	560	SAT-120C-140 (120L)	R-134a 340	0.41/0.43	Rc 3/4 ボールバルブ めねじ	680×985×1195	310	52				
	SLP-751EGD M5/M6	7.4{10} (3.7×2台)									328	53		
	SLP-1101EGD M5/M6	11.1{15} (3.7×3台)											442	56
	SLP-1501EGD M5/M6	14.8{20} (3.7×4台)												

※1: 表に記載されている容量以上の補助タンク (別売り) が必要です。容量選定については別途アネスト岩田コンタクトセンターへお問い合わせください。



SLP - Prime Series (1.5kW 機 / 2.2kW 機)

< 運転制御方式 : 自動発停式 (圧力センサ検知) >

形式	電動機 定格出力 kW[PS]	制御圧力 MPa	吐き出し 空気量 L/min	空気タンク 容量 L	ドライヤ(加圧下露点15℃以下)		空気取出口	外形寸法 (W×D×H) mm	質量 kg	騒音値 (正面1.5m) dB(A)
					冷媒充填量 g	消費電力 (50/60Hz) kW				
ドライヤ付	SLP-15EFPD M5/M6	1.5{2}	170	20	R-134a 190	0.21/0.23	G1/4Bボールバルブ おねじ	453×682×895	120	41
	SLP-22EFPD M5/M6	2.2{3}					Rc3/8ボールバルブ めねじ			



Smart Air (0.75 ~ 3.7kW 機)

< 運転制御方式 : 自動発停式 (圧力センサ検知) >

形式	電動機 定格出力 kW[PS]	制御圧力 MPa	吐き出し 空気量 L/min	空気タンク 容量 L	ドライヤ(加圧下露点15℃以下)		空気取出口	外形寸法 (W×D×H) mm	質量 kg	騒音値 (正面1.5m) dB(A)						
					冷媒充填量 g	消費電力 (50/60Hz) kW										
ドライヤ無	SLP-07EE C5/C6	0.75{1}	74	5	—	—	G1/4B ボールバルブ おねじ	355×590×690	46	45						
	SLP-07EE M5/M6										20	103	139			
	SLP-15EF M5/M6													255	425	35
	SLP-22EF M5/M6															
SLP-37EF M5/M6																
ドライヤ付	SLP-07EED C5/C6	0.75{1}	64	5	メンブレン方式		G1/4B ボールバルブ おねじ	355×660×690	48	45						
	SLP-07EED M5/M6				20	116					129	154				
	SLP-15EFD M5/M6												255	425	35	
	SLP-22EFD M5/M6															3.7{5}
SLP-37EFD M5/M6																

■1MPa仕様

形式	電動機 定格出力 kW[PS]	制御圧力 MPa	吐き出し 空気量 L/min	空気タンク 容量 L	ドライヤ(加圧下露点15℃以下)		空気取出口	外形寸法 (W×D×H) mm	質量 kg	騒音値 (正面1.5m) dB(A)		
					冷媒充填量 g	消費電力 (50/60Hz) kW						
ドライヤ付	SLP-151EFD M5/M6	1.5{2}	130	20	R-134a 190	0.21/0.23	G1/4Bボールバルブ おねじ	453×682×875	116	46		
	SLP-221EFD M5/M6	2.2{3}					Rc3/8 ボールバルブ				129	50
	SLP-371EFD M5/M6	3.7{5}					めねじ					

※1: 使用条件により別置の補助タンク (別売り) が必要な場合があります。容量選定については別途アネスト岩田コンタクトセンターへお問い合わせください。

※2: 1MPa仕様 1.5 ~ 3.7kW 機はドライヤ無タイプもあります。



Think Air (22kW 機 / 30kW 機)

< 運転制御方式 : マルチステージ制御 (圧力センサ発停式) >

形式	電動機 定格出力 kW[PS]	制御圧力 MPa	吐き出し 空気量 L/min	推奨空気 タンク形式	ドライヤ(加圧下露点12℃以下)		空気取出口	外形寸法 (W×D×H) mm	質量 kg	騒音値 (正面1.5m) dB(A)
					冷媒充填量 g	消費電力 (50/60Hz) kW				
ドライヤ無	SLP-220EF M5/M6	0.6~0.7	2700	SAT-400C-140(400L)	—	—	Rc1 1/2 ボールバルブ めねじ	1370×955×1555	809	58
	SLP-300EF M5/M6									
ドライヤ付	SLP-220EFD M5/M6	3.7×6{30}	2700	SAT-400C-140(400L)	R-134a/340×2	0.41/0.43×2			883	

■1MPa仕様

形式	電動機 定格出力 kW[PS]	制御圧力 MPa	吐き出し 空気量 L/min	推奨空気 タンク形式	ドライヤ(加圧下露点15℃以下)		空気取出口	外形寸法 (W×D×H) mm	質量 kg	騒音値 (正面1.5m) dB(A)
					冷媒充填量 g	消費電力 (50/60Hz) kW				
ドライヤ無	SLP-2201EF M5/M6	3.7×6{30}	2070	SAT-400C-140(400L)	—	—	Rc1 1/2 ボールバルブ めねじ	1370×955×1555	809	58
	SLP-3001EF M5/M6	3.7×8{40}								
ドライヤ付	SLP-2201EFD M5/M6	3.7×6{30}	2070	SAT-400C-140(400L)	R-134a/340×2	0.41/0.43×2			883	

※1: 表に記載されている容量以上の補助タンク (別売り) が必要です。容量選定については別途アネスト岩田コンタクトセンターへお問い合わせください。

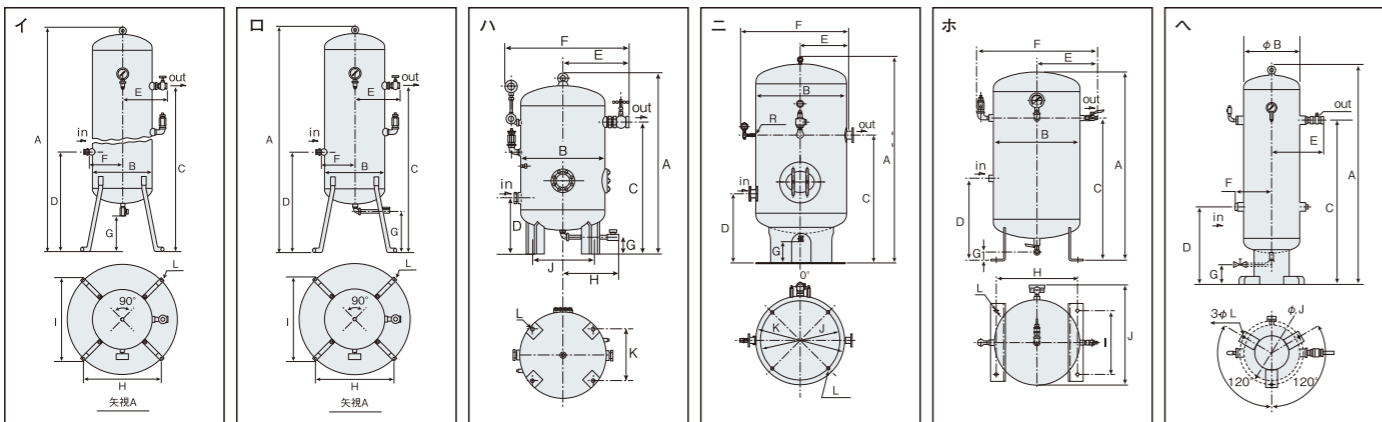
- 吐き出し空気量は最高圧力時に吐き出す空気量を吸込状態 (大気圧) に換算した値です。保証値については別途アネスト岩田コンタクトセンターへお問い合わせください。
- 騒音値は全負荷時、無響音室での測定値です。設置環境により騒音値は異なります。エアドライヤファンの運転時の騒音値は仕様表より1~2dB増加します。
- エアドライヤからの吐き出し空気量はドレン凝縮により圧縮機の吐き出し空気量から約3~5%減少します。
- ドライヤ付出口空気露点は周囲温度30℃、相対湿度70%、各吐き出し圧力時の値です。
- 外形寸法はパッケージの外周寸法です。ボールバルブ等の突起物は含まれません。ただし、SLP-07EE(D)の高さにはキャストの高さを含みます。
- 形式末尾に付いている記号の意味は以下のとおりです。
C および M : 対応している電源の相および電圧を指します。(Cは単相100V、Mは三相200V)
5/6 : 対応している電源の周波数を指します。(5は50Hz、6は60Hz)

オプション

■ 空気タンク

図	形式	タンク容積 L	最高圧力 MPa	質量 kg	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	空気取入口 IN (B)	空気取出口 OUT (B)	ドレン弁 (B)
イ	SAT-60C-100	60	1.0	30	1200	φ310	945	595	250	170	200	423	460	—	—	4-φ10	1/2×3/8プッシュ付き	Rc1/2ストップバルブ	3/8
	SAT-120C-140	120	1.4	60	1370	φ410	1115	565	320	220	190	476	525	—	—	4-φ10	1 1/2×3/4プッシュ付き	Rc3/4ストップバルブ	3/8
ロ	SAT-220C-140	220	1.4	95	1800	φ459	1323	625	365	245	225	516	557	—	—	4-φ10	2×1プッシュ付き	Rc1ストップバルブ	1/2
	SAT-400C-140	400	1.4	175	1715	φ612	1320	430	460	830	85	365	—	510	510	4-φ19	2×1プッシュ付き	Rc1 1/2ストップバルブ	1/2
ハ	SAT-600C-100	600	1.0	217	1710	φ762	1240	370	540	1010	85	365	—	490	440	4-φ20	2×1 1/2プッシュ付き	Rc1 1/2ストップバルブ	1/2
	SAT-1000C-85	1000	0.85	450	2083	φ918	1300	700	479	1090	215	—	—	φ800	φ900	4-φ23	Rp2 1/2ソケット	Rc2 1/2ソケット	1/2
ニ	★SAT-1001C-85			500															
	SUST-39-100	39	1.0	18	678	φ306	506	286	213	425	16	286	230	363	—	4-φ10	3/8	G1/4 ボールバルブ	G1/4
ホ	SUST-65-100	65	1.0	45	1000	φ356	699	449	290	210	130	—	—	φ400	—	3-φ15	1/2	Rc1/2 ボールバルブ	1/2
	SUST-100-100	100	1.0	60	1410	φ356	1059	500	325	230	130	—	—	φ400	—				
ヘ	SUST-160-100	160	1.0	100	1612	φ408	1250	510	350	256	130	—	—	φ520	—	3-φ15	1 1/2×1プッシュ付	Rc1ボールバルブ	1/2
	SUST-250-100	250	1.0	140	1661	φ508	1279	529	400	306	130	—	—	φ520	—				

※1：★印の製品は内面エポキシ樹脂塗装です。注) 最高圧力は安全弁吹き出し圧力とは異なります。その他の空気タンクにつきましては、別途お問い合わせください。
 ※2：1MPa 以上で使用する場合、高圧ガス保安法の適用を受けることがありますのでご注意ください。
 ※3：SUSTはステンレス製タンクです。



■ 装備仕様／標準・オプション一覧

項目	出力 (kW)	Smart Air / Prime				EG シリーズ				Think Air	
		0.75kW	1.5kW	2.2kW	3.7kW	5.5kW	7.5kW	11kW	15kW	22kW	30kW
ドライヤ	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最高圧力	0.7MPa	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	0.8MPa	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	1.0MPa	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電源	単相AC100V (50/60Hz)	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	三相AC200V (50/60Hz)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	異電圧 (400V級)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
外部操作	遠隔操作		●(OCX-792)		○	○	○	○	○	○	○
キット	台数制御		●(OCX-792)		○	○	○	○	○	○	○
	警報		●(OCX-792)		○/○	○/○	○/○	○/○	○(一括)	○(一括)	○(一括)
	出力	異常	●(OCX-792)		○	○	○	○	○	○	○
	運転応答		●(OCX-792)		○(OCX-84)※2		○(OCX-85)※2		○	○	○
	台数制御ユニット (MUC-2) 対応		●(OCX-792)		○	○	○	○	○	○	○
停電自動復帰機能		○	●(標準付属部品取付改造)		○	○	○	○	○	○	●(標準付属部品取付改造)
ドレンセパレータ		●(OCX-812)※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
キャスター		○	●(OCX-813)		—	—	—	—	—	—	—
空気タンク接続用エアホース		—	—	●	●	●	●	●	—	—	—

【凡例】 ○：標準仕様 ●：純正オプション △：受注生産

※1:SLP-07EE(ドライヤ無し)専用オプションです。

※2:圧縮機を複数台搭載したThink Airシリーズは、台数制御ユニットを接続すると省エネ効果の高いマルチステージ制御がOFFとなり、コンプレッサ本体全てがほぼ同時に発停する順次発停制御に変更されます。

※3:Think Airシリーズは、寒冷地における配管凍結防止ヒーターのご案内が可能です。詳細はアネスト岩田コンタクトセンターにお問合せください。

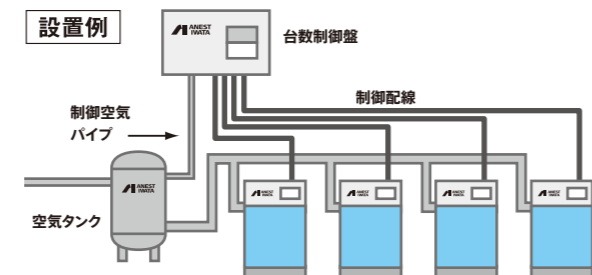
■ エアホース仕様

形式	最高使用圧力 MPa	長さ mm	接続サイズ
AHR-1003	1.4	1000	両端 R3/8 (R3/8×G3/8ユニオン)
AHR-1206		1200	両端 R3/4 (R3/4×G3/4ユニオン)
AHR-1806		1800	
AHR-1208		1200	両端 R1 (R1×G1ユニオン)
AHR-1808	1800		

※継手サイズ () 内はホース単体両端のネジサイズ、ユニオン側にはアダプタが付属されています。

■ 台数制御盤 MUC-2

- 使用空気量に合わせた最適な台数制御を行い、ムダな運転を省き、省エネを図ります。
- 飛び越し制御、バックアップ機能など多彩な機能で圧縮エアの安定供給を保ちます。
- 各コンプレッサの運転、メンテナンスサイクルを均等化し保守管理を容易にします。
- 22kW 機 / 30kW 機を台数制御した場合、内蔵機能のマルチ制御は解除されます。



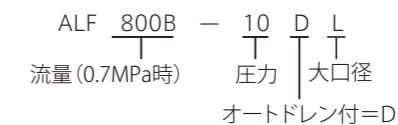
フィルタ

圧縮空気を効率よく使い、ツール寿命を延ばすためにさまざまなタイプを用意。ニーズに合わせたフィルタを選べます。

- ・大口径をラインナップしました。(末尾に「L」がつきます)
- ・メタルボール材質採用で耐溶剤に優れています。
- ・1.4MPa に対応したラインナップ。(一部機種を除く)
- ・作動性に優れたオートドレンを採用しました。手動でもドレンコックが操作しやすい回転式です。
- ・わかりやすい形式表示 (右記参照)。

<形式基準>

ALF=ラインフィルタ
ASF=サブミクロンフィルタ
AMF=マイクロミストフィルタ



■ ラインフィルタ

項目▼	形式▶	ALF800B-10(L)	ALF800B-10D(L)	ALF1300B-14D(L)	ALF2000B-14D(L)	ALF3000B-14D(L)
接続口径*		Rc1/4(Rc3/8)		Rc3/8(Rc1/2)	Rc1/2(Rc3/4)	Rc3/4(Rc1)
ドレン排出方式		手動		自動 (ノーマルオープン)		
0.7MPa時流量 L/min		800		1300	2000	3000
1.0MPa時流量 L/min		900		1700	2700	4100
1.4MPa時流量 L/min		-		2400	3700	5600
ろ過度 μm		5		3		
使用圧力 MPa		1.0		1.4		
使用温度範囲 (流体温度) °C		-5~60°C (※凍結なきこと)				
質量 kg		0.44	0.49	0.9	1.4	2.1

ALF1300B-14D



ALF800B-10D



■ サブミクロンフィルタ

項目▼	形式▶	ASF650B-10(L)	ASF650B-10D(L)	ASF1300B-14D(L)	ASF2000B-14D(L)	ASF3000B-14D(L)
接続口径*		Rc1/4(Rc3/8)		Rc3/8(Rc1/2)	Rc1/2(Rc3/4)	Rc3/4(Rc1)
ドレン排出方式		手動		自動 (ノーマルオープン)		
0.7MPa時流量 L/min		650		1300	2000	3000
1.0MPa時流量 L/min		730		1700	2700	4100
1.4MPa時流量 L/min		-		2400	3700	5600
ろ過度 μm		0.3				
使用圧力 MPa		1.0		1.4		
使用温度範囲 (流体温度) °C		-5~60°C (※凍結なきこと)				
質量 kg		0.46	0.5	0.9	1.4	2.1

■ マイクロミストフィルタ

項目▼	形式▶	AMF500B-10(L)	AMF500B-10D(L)	AMF1200B-14D(L)	AMF1750B-14D(L)	AMF3000B-14D(L)
接続口径*		Rc1/4(Rc3/8)		Rc3/8(Rc1/2)	Rc1/2(Rc3/4)	Rc3/4(Rc1)
ドレン排出方式		手動		自動 (ノーマルオープン)		
0.7MPa時流量 L/min		500		1200	1750	3000
1.0MPa時流量 L/min		560		1600	2400	4100
1.4MPa時流量 L/min		-		2200	3200	5600
ろ過度 μm		0.01				
使用圧力 MPa		1.0		1.4		
使用温度範囲 (流体温度) °C		-5~60°C (※凍結なきこと)				
質量 kg		0.46	0.5	0.9	1.4	2.1

※ () 内は末尾に L の付いた大口径となります。

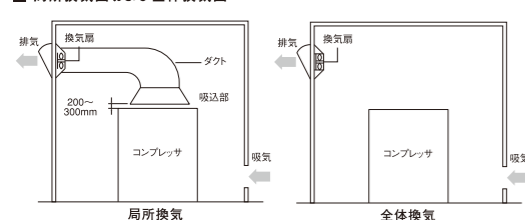
コンプレッサを快適に効率よく使うために

換気についてのご注意

- ①コンプレッサの性能を十分に発揮し、寿命を伸ばすためには据え付け場所の適切な換気が必要です。
- ②全体換気の場合、室内上昇温度を5℃に抑えるために必要な換気風量は右記の表のようになります。この数値は、換気側の抵抗がない場合を示しています。換気扇の選定にあたっては、この数値以上のものを選定してください。(全体換気図を参照ください)
- ③換気扇は、据え付け場所の吸気口の位置とコンプレッサの吸排気口の向きを考慮して、換気風が再循環しない位置に取り付けてください。
- ④排気ダクト出口部に換気扇を取り付ける場合は、排気ダクトとコンプレッサの間には必ず隙間を設けてください。(局所換気図を参照ください)
換気扇は内蔵換気扇の風量以上のものを選定し、静圧は排気ダクトの圧損にほぼ等しくなるような性能のものを選定してください。
ドライヤ付の場合は、ドライヤの排気口に排気ダクトを設けずに全体換気としてください。(局所換気図を参照ください)

*全体換気時の吸気口部の流速を 3m/sec とした場合。
上記の数値はあくまでも目安であり、設置の際には電気工事設備業者にお問い合わせください。

■ 局所換気図および全体換気図



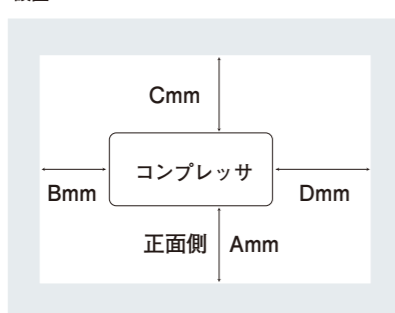
■ 電気配線、電源容量、換気について (参考)

形式	配線の長さ	適用電線最小太さ		漏電ブレーカ容量 定格電流 (A)	局排風量 (m³/min)	全換風量 (m³/min)	吸気有効面積 (m²)*
		電源配線 (mm²)	アース線 (mm²)				
SLP-07EE(D) 単相100V	3m以下	2.0	2.0	30	-	10	0.056
	20m以下	3.5					
SLP-07EE(D) 三相200V	3m以下	2.0	2.0	15	-	20	0.112
	20m以下	2.0					
SLP-15(1)EF(D) SLP-15EFPD	20m以下	2.0	1.6	30	-	25	0.141
SLP-22(1)EF(D) SLP-22EFPD		2.0	2.0	40	-	40	0.253
SLP-37(1)EF SLP-37(1)EFD	20m以下	2.0	2.0	60	20	45	0.309
SLP-55(1)EG SLP-55(1)EGD		5.5	3.5	60		60	
SLP-75(1)EG SLP-75(1)EGD	20m以下	8.0	3.5	60	25	75	0.421
SLP-110(1)EG SLP-110(1)EGD		14	5.5	75	40	110	0.618
SLP-150(1)EG SLP-150(1)EGD	20m以下	14	5.5	100	42	120	0.674
SLP-220(1)EF SLP-220(1)EFD		22	8.0	125	50	150	0.843
SLP-300(1)EF	60	8.0	175	100	58	160	0.898
					80	220	1.238
					84	240	1.349
					100	300	1.687

設置スペースに関して

- 保守・点検作業が容易にできる場所を選んで設置してください。コンプレッサの性能を維持するためには、適切なスペースを確保することが重要です。設置スペースは表の距離以上を確保してください。設置スペース図の記号と表の記号と照らし合わせ、読み替えてください。表記の空間は、コンプレッサの正常な機能を確保すると共に、保守・点検作業を行なう上で最低限必要な空間です。設置にあたって、表記以上のスペースを確保できる場合は、保守・点検用機材が使用できるように、できるだけ広くスペースを確保してください。

設置スペース



設置

形式	A 正面 (mm)	B 左面 (mm)	C 背面 (mm)	D 右面 (mm)	上面 (mm)
SLP-07EE(D) (単相 100V)	500	0	0	500	600
SLP-07EE(D) (三相 200V)	以上				
SLP-15EF(D) SLP-151EF(D) SLP-15EFPD SLP-22EF(D) SLP-221EF(D) SLP-22EFPD	1000	600	600	600	1000
SLP-37EF(D) SLP-371EF(D)	以上				
SLP-55EG(D) SLP-551EG(D)	600	700	700	700	1200
SLP-75EG(D) SLP-751EG(D)					
SLP-110EG(D) SLP-1101EG(D)	700	700	700	700	1200
SLP-150EG(D) SLP-1501EG(D)					
SLP-220EF(D) SLP-2201EF(D)	700	700	700	700	1200
SLP-300EF SLP-3001EF					

コンプレッサの設置、使用開始に際して、安全性や公害防止の見地から種々の法規に基づき、定められた方法で顧客の皆様へ、設置の届け出や許可、安全性の処置、あるいは定期的な自主点検が求められています。以下、コンプレッサに適用される規制の概要について説明します。

ボイラーおよび圧力容器安全規則 (第二種圧力容器)

※労働安全衛生法に基づくもの

【対象となる圧力容器】

- 最高使用圧力0.2MPa以上で内容量40L以上の容器。
- 最高使用圧力0.2MPa以上で胴内径200mm以上でかつ胴長1000mm以上の容器。

【お客様にて保管いただく書類】

- 第二種圧力容器明細書取扱注意書。
- 第二種圧力容器明細書 (原本)。
- 取扱説明書
平成2年9月13日の官報で労働安全衛生法のボイラーおよび圧力容器安全規定の一部が改正され、所轄労働基準監督長への第二種圧力容器設置届出の義務はなくなりました。ただし、圧力容器の取り扱いおよび圧力容器明細書の保管等については、従来と同一であり、大切に保管する必要があります。

【設置・使用に際して】使用中は次の事項を守らなければなりません。

- 圧力容器改造の禁止
- 第二種圧力容器明細書 (原本) の保管 (検定日より2年以後の再発行はできず、再検定となります。紛失した場合は、使用・販売・譲渡が禁じられます)
- 安全弁の吐き出し圧力の調整。
- 圧力計は、最大目盛りが最高使用圧力の1.5~3倍で、最高使用圧力の位置に見易い表示があるものを使用する。
- 年1回以上容器の内外面の掃除および下記の定期自主検査を実施、記録を3年間保管する。(記録用紙は取扱説明書に参考として記載してあります) 本体の損傷の有無、ふたの取付ボルトの摩耗の有無、管および弁 (バルブ安全弁) の損傷の有無。
- もし圧力容器が破損事故を起こした時は、速やかに第二種圧力容器事故報告書を所轄の労働基準監督署に提出する。

フロン排出抑制法

冷凍式ドライヤおよび冷凍式ドライヤ搭載機はこの法律で第一種特定製品として指定されており、使用時・廃棄時に下記の義務があります。

■ご使用時における義務 【簡易点検実施義務】

- 使用中は、3か月に1回以上の目視による簡易点検を実施し、その点検記録を当該機器の廃棄時まで保管しなければなりません。
- 点検の記録は、該当機器の廃棄後3年間保存しなければなりません。
- フロン類 (冷媒) の漏えいか確認された場合は、可能な限り速やかに修繕を行わなければなりません。修繕を行っていない機器へのフロン類の補充は禁止されています。
- 1年間で1,000CO₂-t以上のフロン類 (冷媒) を漏えいした場合は、お客様の事業を管轄する大臣に報告しなければなりません。

コンプレッサを安全かつ支障なくご使用いただくため定期的な点検が必要です。また、事業者に対し定期点検を義務づける法律もあります。点検の実施については取扱説明書をよく読んで行ってください。

⚠安全上のご注意

■コンプレッサの使用対象に関して

- エアコンプレッサは製造生産設備等に圧縮空気を供給するための製品です。圧縮空気は大きなエネルギーを持っているため、人体に向けてむやみに噴射すると、失明や死亡などの重大な事故を引き起こす恐れがあります。着衣の上からであっても同様です。人体に向けて噴射する必要がある場合、十分な安全対策を講じた設備・装置・器具類を使用し、それらの取り扱い要領にしたがって十分に注意してご使用ください。なお、安全対策の有無を問わず、圧縮空気を直接吸引する設備装置 (呼吸器系の装置等) には使用しないでください。(特殊用途については、アネスト岩田コンタクトセンター宛にご相談ください)
- オイルフリーコンプレッサは圧縮工程で潤滑油を使用していませんが、大気中の水分、油分や塵埃、製造時の部品付着油分、磨耗粉、配管の錆など微量ですが、不純物が含まれています。圧縮空気のご使用用途やご要求の品質にあったドライヤ、フィルタをご使用ください。
- 空気タンクのドレン内にも錆が含まれますので、ドレン排水は毎日実施願います。(ドレン抜きの日詰まりの原因となります)
- 重要製造設備に使用される場合は、保護装置の作動によりコンプレッサが停止した場合や故障に備え、予備機やそれに代わる装置をご用意願います。
- 原子力関連施設など特別な維持管理や信頼性が要求される場所には適用できません。

■保守に関して

- 定期的な保守点検、整備が必要です。取扱説明書の記載に基づき、必ず点検、整備を行ってください。取扱説明書の指示 (△危険、△警告、△注意) に従わず、保守点検、整備を行わなかったり、誤った取扱いなどをすると、重大な事故 (死亡または重傷、物的損害など) の恐れがあります。高品質なエアを得るためには、コンプレッサ、ドライヤ、フィルタのメンテナンスが不可欠です。必ずメーカー指定のメンテナンスを実施ください。また異常発生時には運転はさせず、お買い上げいただいた販売店様に連絡して修理してください。

■設置場所に関して

- 直射日光や雨のあたる場所は避け、粉じん・腐食性ガス・毒性ガスのない場所に設置してください。(寿命低下・故障・破損・火災の原因となります)
- 近くに爆発性・引火性ガス (アセチレン・プロパンガスなど)、有機溶剤、爆発性粉塵などの可燃物および、火気のない場所に設置してください。(火災・事故の原因となります)
- アンモニア、酸、塩分、亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。(発錆・寿命低下・破損の原因となります)
- コンプレッサ本体は防塵仕様ではありませんので、セメント、砂、埃など塵埃の多い場所では使用しないでください。(寿命低下・破損の原因となります)

■ご使用に関して

- ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。尚、使い方を誤ると発火事故、感電事故などの重大事故を起こす場合があります。
- 製品の改造および部品の改造は絶対に行わないでください。(破損・事故の原因となります)
- 本製品は日本国内用として製造しておりますので、海外でのご使用はアネスト岩田コンタクトセンターにお問合わせください。

■その他

- カタログに記載の仕様などは製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- カタログは印刷物ですので実際の商品と多少色合いが異なりますことご了承ください。
- 本カタログに記載してある製品を日本国外に輸出する際は、外国為替および外国貿易管理法の規定に基づく判定が必要となりますので、必ずアネスト岩田コンタクトセンターにお問合わせください。
- この安全上のご注意は必要最低限のもです。ご使用の際には取扱説明書に示す安全事項、国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、またそれぞれの企業や事業所で規則・規定として守るべき事項に従ってください。

Web Meeting Service

オンライン面談はじめました!!

詳しくはこちら



アネスト岩田株式会社 営業担当へのお気軽なご質問など、オンライン面談を受け付けております。



弊社はお客様の安全確保と、効率的なコミュニケーション提供の場として、オンライン面談を開始いたしました。

お気軽なご質問から製品導入に関するご相談まで、積極的に受け付けております。



はじめての方はこちらから
→ お申込フォーム



すぐに
オンライン面談



- この製品は、FSユースコート紙を使用しています。本紙の作成にかかる費用の一部は、東日本大震災遺児の心のケア活動、教育支援のための募金として役立てられます。
- この製品は、適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。
- この製品は、揮発性有機化合物を含まない「ノンVOCインキ」を採用しています。
- 本カタログに記載の仕様は商品改良のため、予告なく変更することがあります。
- 仕様変更などにより、写真や内容が一部商品と異なる場合があります。

■お問い合わせは

お問合せは  **アネスト岩田株式会社**

札幌駐在所 TEL (011)831-6141 FAX (011)831-6144 中部支店 TEL (052)412-3221 FAX (052)412-3229
東北支店 TEL (022)284-1257 FAX (022)208-5930 関西支店 TEL (06)6458-5971 FAX (06)6458-5978
北関東支店 TEL (0480)96-7001 FAX (0480)96-7003 福岡支店 TEL (092)433-1085 FAX (092)433-1103
関東支店 TEL (045)595-3660 FAX (045)595-3661

お客様相談室  **0800-1111-9681**

フリーダイヤル
※携帯・PHSからもご利用いただけます。

<https://www.anest-iwata.co.jp/>

検索

 **Active** with Newest Technology

